

請 求 書 (指定部分払)

¥

ただし、(工事名) の指定部分に係る工事に対する契約書第39条第1項にも

とづく請求額

1 請負代金額	¥
(うち指定部分に係る請負代金額)	¥
1 前払金受領済額	¥
(うち指定部分に係る受領済額)	¥
1 既済部分受領済額	¥
(うち指定部分に係る受領済額)	¥

なお、今回の請求に係るインボイス記載事項は次のとおり

- 1 出来高金額 ¥ ※消費税10%対象
(うち指定部分の取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ -)
- 1 出来高金額 ¥ ※消費税8%対象
(うち指定部分の取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ -)

ただし、(工事名) 部分引渡に係る請負代金から指定部分に係る既に部分払の対象となった請負代金相当額を控除した残額

上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

日本下水道事業団

契約職 氏 名 殿
〇〇〇〇

受注者 住 所

氏 名 印
(登録番号)

振込銀行名	銀行 本・支店
預金の種目	
口座番号	
(フリガナ)	
口座名	

- (注) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4判とする。
 2 不必要な金額欄は抹消すること。
 3 「請負代金額」の欄には、請求日現在の請負代金額を記入すること。
 4 出来高金額は、検査員が確認した出来高を記入すること。
 5 受注者が建設共同企業体の場合、建設共同企業体協定書第11条の規定により設定された口座を記入すること。
 6 受注者は、代表者又は代表者から委任を受けている者とする。

請 求 書 (指定部分払)

¥

ただし、(工事名)の指定部分に係る工事に対する契約書第39条第1項にもとづく請求額 契約書記載の工事名を記入すること。

1 請負代金額	¥	最終変更の金額を記入	
(うち指定部分に係る請負代金額)	¥		
1 前払金受領済額	¥	数回あるときは合計額を記入	
(うち指定部分に係る受領済額)	¥		
1 既済部分受領済額	¥	数回あるときは合計額を記入	
(うち指定部分に係る受領済額)	¥		

受領済が無い場合は該当しない文字及び該当しない欄を抹消する。

なお、今回の請求に係るインボイス記載事項は次のとおり

1 出来高金額	¥ 検査員が確認した出来高金額 ※消費税10%対象 (うち指定部分の取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ -)
1 出来高金額	¥ 検査員が確認した出来高金額 ※消費税8%対象 (うち指定部分の取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥ -)

該当が無い場合は該当しない文字及び該当しない欄を抹消する。

ただし、(工事名)部分引渡に係る請負代金から部分引渡に係る既に部分払の対象となった請負代金相当額を控除した残額

契約書記載の工事名を記入すること。

上記のとおり請求します。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

日本下水道事業団

契約職 氏名 殿
〇〇〇〇

受注者氏名欄：
契約書の会社名又はJV名と代表会社名
代表取締役 氏名
(契約書の受注者の社名と氏名を記載する。
代理人を立てるときは契約課書類を整合)

受注者
住所
氏名 (会社名)
(氏名) 印
(登録番号)

適格請求書発行事業者登録番号を記入(建設共同企業体の場合は、代表会社の登録番号)

振込不能となる場合があるため、フリガナは必ず記入すること。

振込銀行名	〇〇銀行 △△支店
預金の種目	
口座番号	
(フリガナ) 口座名	

支店名まで明記する事

JVのときは、建設共同企業体協定書第11条により設定された別口預金口座(代表会社の単独口座は不可)。JV以外の場合は当座預金でもよい。

- (注) 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4判とする。
 2 不必要な金額欄は抹消すること。
 3 「請負代金額」の欄には、請求日現在の請負代金額を記入すること。
 4 出来高金額は、検査員が確認した出来高を記入すること。
 5 代理受領の場合は、受注者住所、氏名の下に「代理受領者住所、氏名」を明記し、振込銀行名、預金の種目、口座番号を記入すること。
 6 受注者が建設共同企業体の場合、建設共同企業体協定書第11条の規定により設定された口座を記入すること。
 7 受注者は、代表者又は代表者から委任を受けている者とする。